

平成26年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月14日

上場取引所 福

上場会社名 サイタホールディングス株式会社
 コード番号 1999 URL <http://saita-hd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 才田 善之
 (氏名) 梯 久男

TEL 0946-22-3875

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第3四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第3四半期	3,552	47.5	209	—	243	269.5	240	88.8
25年6月期第3四半期	2,409	△11.7	6	△50.5	65	310.8	127	764.5

(注) 包括利益 26年6月期第3四半期 233百万円 (79.9%) 25年6月期第3四半期 130百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第3四半期	38.06	—
25年6月期第3四半期	20.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年6月期第3四半期	5,644	2,135	37.8	338.66
25年6月期	5,195	1,920	37.0	304.56

(参考) 自己資本 26年6月期第3四半期 2,135百万円 25年6月期 1,920百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年6月期	—	0.00	—	—	—
26年6月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,850	1.4	100	△11.5	70	△63.0	40	△75.5	6.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年6月期3Q	6,610,000 株	25年6月期	6,610,000 株
② 期末自己株式数	26年6月期3Q	303,350 株	25年6月期	302,950 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年6月期3Q	6,306,964 株	25年6月期3Q	6,307,050 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 四半期建設事業受注の概況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費が消費増税前の駆け込み需要が顕在化したことに加えて、緊急経済対策の進捗に伴い公共投資も増勢が続くなど、内需を中心に底堅く推移し景気は緩やかに回復しているものの、増税後の景気悪化に対する企業の警戒感の強さや円安地合いの輸入コスト上昇、欧州や新興国の政治・経済情勢等、日本経済を巡る不透明な状況は依然として続いております。

建設業界におきましては、緊急経済対策の着工・進捗に伴う公共投資の増勢持続が続いておりますが、依然として技能工等の人手不足状況や円安持続での資材等建設コスト上昇が収益を圧迫する等、厳しい状況は依然として続いております。

このような状況下、当社グループは総力を挙げて受注活動を行うとともに、碎石製品等の販路拡張にまい進してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は35億5千2百万円(前年同四半期比47.5%増)となり、営業利益2億9百万円(前年同四半期は営業利益6百万円)、経常利益2億4千3百万円(前年同四半期比269.5%増)となり、その結果、四半期純利益は2億4千万円(前年同四半期比88.8%増)となりました。

なお、当社グループの売上高は、通常の営業形態として完成工事高が下半期、特に第3四半期に偏ることから、通期の業績予想に対し第2四半期までの売上高の割合が低くなるといった季節的変動があります。

セグメントごとの業績を示すと次のとおりであります。

(建設事業部門)

当第3四半期連結累計期間の受注高は20億7百万円(前年同四半期比24.6%増)、完成工事高は15億9千6百万円(前年同四半期比94.9%増)、営業利益は1億1千5百万円(前年同四半期は営業損失3百万円)となりました。

(碎石事業部門)

当第3四半期連結累計期間の売上高は13億6千4百万円(前年同四半期比33.2%増)、営業利益は2億5千1百万円(前年同四半期比51.1%増)となりました。

(酒類事業部門)

当第3四半期連結累計期間の売上高は2億5千6百万円(前年同四半期比1.0%減)、営業損失は4千5百万円(前年同四半期は営業損失4千1百万円)となりました。

(その他の事業部門)

その他の事業部門の当第3四半期連結累計期間の売上高は3億3千5百万円(前年同四半期比9.3%増)、営業利益は1千2百万円(前年同四半期比153.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は28億9千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億8千4百万円増加いたしました。これは主に現金預金が7千6百万円及び受取手形・完成工事未収入金等が1億1千4百万円増加したことによるものであります。固定資産は27億4千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億6千5百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が2億1千万円、投資その他の資産が6千8百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、56億4千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億4千9百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は28億2千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億2千2百万円増加いたしました。これは主に支払手形・工事未払金等が9千7百万円、短期借入金が3千8百万円、未成工事受入金が9千万円及びその他が8千7百万円増加し、未払法人税等が7千万円減少したことによるものであります。固定負債は6億8千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ1千1百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が8千2百万円増加し役員退職慰労引当金が7千9百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、35億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億3千4百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は21億3千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億1千4百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益2億4千万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は37.8%(前連結会計年度末は37.0%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年6月期決算発表時(平成25年8月19日)に公表した通期の業績予想については現時点での変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,267,502	1,344,231
受取手形・完成工事未収入金等	1,224,731	1,338,956
未成工事支出金等	199,323	162,800
繰延税金資産	15,624	36,042
その他	15,014	25,021
貸倒引当金	△9,688	△10,279
流動資産合計	2,712,508	2,896,773
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	440,132	421,169
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	291,552	702,529
土地	745,070	755,470
リース資産(純額)	43,534	56,844
建設仮勘定	202,411	—
その他	58,355	55,735
有形固定資産合計	1,781,056	1,991,750
無形固定資産		
採石権	52,584	38,510
その他	4,115	3,879
無形固定資産合計	56,700	42,390
投資その他の資産		
投資有価証券	222,068	233,343
保険積立金	137,599	148,553
繰延税金資産	9,102	24,086
その他	349,468	373,926
貸倒引当金	△72,832	△65,832
投資その他の資産合計	645,406	714,077
固定資産合計	2,483,163	2,748,217
資産合計	5,195,671	5,644,991

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	773,190	870,309
短期借入金	1,502,553	1,540,557
リース債務	15,277	22,008
未払費用	49,051	44,585
未払法人税等	98,374	27,531
未成工事受入金	28,894	119,843
工事損失引当金	16,500	900
賞与引当金	26,647	19,275
その他	95,042	182,890
流動負債合計	2,605,530	2,827,901
固定負債		
長期借入金	395,654	477,832
リース債務	33,886	42,218
退職給付引当金	125,940	127,840
役員退職慰労引当金	106,421	26,669
その他	7,359	6,693
固定負債合計	669,261	681,252
負債合計	3,274,792	3,509,154
純資産の部		
株主資本		
資本金	942,950	942,950
資本剰余金	716,574	716,574
利益剰余金	323,590	544,681
自己株式	△35,351	△35,417
株主資本合計	1,947,764	2,168,788
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△13,907	△13,258
為替換算調整勘定	△12,977	△19,693
その他の包括利益累計額合計	△26,884	△32,951
純資産合計	1,920,879	2,135,837
負債純資産合計	5,195,671	5,644,991

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)
売上高		
完成工事高	819,514	1,596,905
兼業事業売上高	1,589,502	1,956,030
売上高合計	2,409,017	3,552,936
売上原価		
完成工事原価	776,583	1,400,912
兼業事業売上原価	1,189,550	1,381,655
売上原価合計	1,966,133	2,782,567
売上総利益		
完成工事総利益	42,931	195,993
兼業事業総利益	399,952	574,375
売上総利益合計	442,883	770,369
販売費及び一般管理費	436,740	560,600
営業利益	6,143	209,769
営業外収益		
受取利息	493	954
受取配当金	819	1,014
固定資産賃貸料	2,978	3,009
持分法による投資利益	20,118	29,729
貸倒引当金戻入額	1,002	7,000
雇用調整助成金	8,124	851
為替差益	48,669	11,005
その他	6,361	6,996
営業外収益合計	88,568	60,561
営業外費用		
支払利息	27,328	23,303
その他	1,437	3,382
営業外費用合計	28,765	26,685
経常利益	65,945	243,644
特別利益		
固定資産売却益	1,087	8,633
受取保険金	114,520	—
特別利益合計	115,607	8,633
特別損失		
貸倒損失	1,800	—
固定資産除却損	1,506	2,470
減損損失	—	4,700
特別損失合計	3,306	7,170
税金等調整前四半期純利益	178,246	245,106
法人税、住民税及び事業税	46,466	40,906
法人税等調整額	4,620	△35,811
法人税等合計	51,087	5,095
少数株主損益調整前四半期純利益	127,158	240,011
四半期純利益	127,158	240,011

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	127,158	240,011
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29,573	649
為替換算調整勘定	△26,725	△6,715
その他の包括利益合計	2,847	△6,066
四半期包括利益	130,006	233,945
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	130,006	233,945
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建設事業	砕石事業	酒類事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	819,514	1,024,266	258,555	2,102,336	306,680	2,409,017	—	2,409,017
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,312	8,371	164	13,847	12,983	26,831	△26,831	—
計	824,826	1,032,637	258,719	2,116,184	319,664	2,435,848	△26,831	2,409,017
セグメント利益又は損失(△)	△3,616	166,761	△41,886	121,258	4,805	126,063	△119,920	6,143

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油販売事業、不動産事業、環境事業及び警備事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額119,920千円には、セグメント間取引消去26,831千円、各報告セグメントに配分していない全社費用93,089千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建設事業	砕石事業	酒類事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,596,905	1,364,723	256,082	3,217,711	335,225	3,552,936	—	3,552,936
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,000	33,996	581	46,577	21,238	67,815	△67,815	—
計	1,608,905	1,398,719	256,663	3,264,288	356,463	3,620,752	△67,815	3,552,936
セグメント利益又は損失(△)	115,673	251,969	△45,143	322,498	12,190	334,689	△124,920	209,769

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油販売事業、不動産事業、太陽光発電事業、環境事業及び警備事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額124,920千円には、セグメント間取引消去67,815千円、各報告セグメントに配分していない全社費用57,104千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他」セグメントにおいて、工具器具備品等の減損損失4,700千円を計上しております。

4. 四半期建設事業受注の概況

(株式会社才田組受注高)

	受注高	
	千円	%
平成26年6月期第3四半期累計期間	1,897,472	23.8
平成25年6月期第3四半期累計期間	1,533,195	64.7

(注)・受注高は、当該四半期までの累計額であります。

・パーセント表示は、前同四半期比増減率であります。

受注実績内訳

			平成26年6月期 第3四半期累計期間		平成25年6月期 第3四半期累計期間		比較増減		増減率	
			千円	%	千円	%	千円	%		
建設事業	土 木	官公庁	1,404,764	74.0	998,033	65.1	406,730	40.8		
		民 間	47,093	2.5	531,275	34.7	△484,181	△91.1		
		計	1,451,857	76.5	1,529,309	99.7	△77,451	△5.1		
	建 設	官公庁	657	0.0	2,580	0.2	△1,923	△74.5		
		民 間	444,957	23.4	1,305	0.1	443,651	—		
		計	445,614	23.5	3,886	0.3	441,728	—		
	合 計	官公庁	1,405,421	74.1	1,000,614	65.3	404,806	40.5		
		民 間	492,051	25.9	532,580	34.7	△40,529	△7.6		
		計	1,897,472	100.0	1,533,195	100.0	364,276	23.8		

(注)・パーセント表示は、構成比率であります。